

**「若年がん患者への治療による妊孕性低下への情報提供や妊孕性温存に対する意思決定支援の実態」へご協力をお願い**  
**— 当院で妊孕性温存に関する治療を受けた患者さん —**  
**【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】**

高崎総合医療センター 遺伝性腫瘍チーム会では、以下の臨床研究を行っております。  
内容をご確認ください。

**(1) 研究の概要**

**【研究の意義】**

遺伝性腫瘍チーム会では、当院で治療する若年がん患者さんが抱える様々な課題や問題に対し、多職種で支援する「AYA サポートチーム」の立ち上げを検討中です。本研究の結果は AYA サポートチーム活動に役立てることができ、当院における医療の質の向上に寄与できると考えられます。

- ・ 若年がん患者：AYA 世代（15-39 歳）のがん患者のうち、20 歳～40 歳未満の患者とする

**【研究の目的】**

この研究では、当院のがん治療医を対象とした若年がん患者さんへの妊孕性温存に関する意識調査と、当院における若年がん患者さんへの妊孕性低下に関する情報提供、妊孕性温存の意思決定支援、専門施設への紹介に関する実態調査を行うことで、がん治療に伴う妊孕性の低下や喪失が予測されるすべての若年がん患者さんに対し、多職種で継続的な支援を行う体制の構築について検討していくことを目的としています。そのため、過去に妊孕性温存に関する治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

- ・ 妊孕性：妊娠するために必要な臓器とその機能のこと
- ・ 妊孕性温存：がん治療前に妊娠に必要な能力を温存すること

**(2) 研究の方法**

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：研究機関長許可日 ～ 2024 年 6 月 30 日まで

対象調査期間：2018 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日まで

- ② 今回の調査研究の対象は対象調査期間中に妊孕性温存に関する治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データです。

情報：診断名、病期、性別、年齢、治療内容、病状、挙児希望の有無、妊孕性低下に対する説明の有無と説明内容、パートナーの有無、仕事の有無、子どもの有無と人数、主治医の説明時のパートナーの同意の有無、選択した妊孕性温存の方法、妊孕性温存後の経過（妊娠や出産に至ったかどうか、専門施設への紹介の件数 等

- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、ま

た、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、研究費を使用しません。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

**【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

高崎総合医療センター 遺伝性腫瘍チーム会

がん看護専門看護師 清原文

がん看護専門看護師 櫻井 史子

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)